

東北情報通信懇談会 資金援助事業実施概要報告書

支援:様式4

事業の名称		いわてまるごと科学・情報館	
開催日	11月25日(土)	開催場所	アイーナ いわて県民情報交流センター
会場来場者人数	約800人	実施結果に対する感想・反省等	<p>●これまでの課題となっていたイベント周知について、チラシ・ポスターの配布をイベントのメインターゲット層に焦点をあて、集中的に周知を実施した結果、イベント来場者数へとつながった。</p> <p>また、従来とおりイベント専用ページ(LPサイト)、ホームページ、各種SNSを利用し、テレビ・ラジオでのイベント周知のほか、今回新たに地元新聞紙にてイベント周知を実施し、イベント周知を徹底した。</p> <p>●デジタル体験コーナーでは、来場者数が増えることを想定し、当日の導線が混雑しないように整理券を配り、1回あたりの体験時間が平等になるよう、15分1回転とした。しかしながら、当日は想定を越える来場者に来ていただき、開始30分で午後の枠まで予約で埋まった。試験的な企画として本格的なeスポーツを導入してみた結果、来場者にとっても人気のあるコンテンツであることを確認したため、次年度はeスポーツを軸としたデジタル分野の企画を展開していきたい。</p> <p>●主催団体である両実行委員会の構成団体のご理解・ご協力のおかげで、イベントを開催する度にブース数や出展内容の拡充を図ることができた。その反面、イベント会場の1団体あたりのブース面積数が狭くなる等の問題が発生した。今回のイベントをとおして今後、イベント運営する事務局として改善すべき点等の課題も見つかったことから、次年度以降のイベントで改善していきたい。</p>
主催団体等	<p>主催:いわてSociety5.0フェア実行委員会 いわてまるごと科学館実行委員会</p> <p>共催:岩手県、東北情報通信懇談会 いわてDX推進連携会議</p> <p>後援:総務省東北総合通信局等</p>		
実施概要	<p>科学・情報通信技術がもたらす未来社会を実感できる展示やセミナーの開催により、次代の科学・情報通信技術を担う人材育成や、最先端の科学・情報通信技術の活用、DXがもたらす社会生活の変革について、幅広い層の県民が考える契機となった。</p> <p>デジタル分野の企画として、東日本電信電話株式会社岩手支店による「デジタル体験コーナー」を実施した。eスポーツ、メタバース、デジタルアート等の様々なコンテンツの展示・体験コーナーをご用意いただき、イベント当日は来場者で終日大盛況であった。</p> <p>ゲーム機やVRゴーグルを通して文化芸術や工事現場の高所作業体験等、様々な分野でデジタル技術が活用されている事例を実際に来場者が見て・触れて・学ぶことができる機会を提供することができた。</p> <p>なお、イベント当日は来場者向けにアンケートを実施し、以下のとおり回答を得ている。(800人中522人回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が興味を持って色々体験できていたのが良かった。 ・知らない仕事・CMだけみてもよく分からない会社、仕事内容が知れて良かった ・同じようなイベントを毎年実施してほしい。 ・eスポーツ、VR体験をもっと増やしてほしい。 		

